



WOWOW

2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月15日

上場会社名 株式会社WOWOW 上場取引所 東  
 コード番号 4839 URL <https://corporate.wowow.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 山本 均  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理局長 (氏名) 山口 基貴 TEL 03-4330-8080  
 定時株主総会開催予定日 2024年6月20日 配当支払開始予定日 2024年6月4日  
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月21日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト・記者向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

## （1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	74,869	△2.9	1,450	△55.0	2,057	△42.0	1,092	△54.5
2023年3月期	77,101	△3.2	3,225	△38.8	3,547	△33.7	2,398	△43.4

（注）包括利益 2024年3月期 2,710百万円（18.0%） 2023年3月期 2,297百万円（△45.4%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	38.79	—	1.6	2.2	1.9
2023年3月期	83.75	—	3.6	3.6	4.2

（参考）持分法投資損益 2024年3月期 268百万円 2023年3月期 234百万円

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	89,146	68,225	76.5	2,420.69
2023年3月期	97,046	66,828	68.9	2,377.78

（参考）自己資本 2024年3月期 68,225百万円 2023年3月期 66,828百万円

## （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	4,293	△2,755	△1,433	25,922
2023年3月期	3,219	△2,303	△2,515	25,757

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00	1,405	59.7	2.1
2024年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00	845	77.3	1.3
2025年3月期（予想）	—	0.00	—	30.00	30.00		84.7	

（注）2024年3月期の期末配当金額につきましては、2024年5月17日開催の取締役会で決定致します。

## 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	36,900	0.8	0	△100.0	500	△65.9	300	△58.4	10.63
通期	74,700	△0.2	700	△51.7	1,500	△27.1	1,000	△8.5	35.41

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年3月期	28,844,400株	2023年3月期	28,844,400株
2024年3月期	659,970株	2023年3月期	739,026株
2024年3月期	28,158,063株	2023年3月期	28,636,780株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	64,347	△2.9	1,191	△46.6	1,931	△31.6	1,114	△45.1
2023年3月期	66,269	△4.3	2,230	△46.0	2,823	△35.2	2,030	△42.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	39.57	—
2023年3月期	70.89	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
2024年3月期	79,447	75.4	59,906	66.8	75.4	66.8	2,125.51	
2023年3月期	87,581	66.8	58,489	66.8	66.8	66.8	2,081.07	

(参考) 自己資本 2024年3月期 59,906百万円 2023年3月期 58,489百万円

2. 2025年3月期の個別業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期（累計）	31,500	△0.5	200	△88.3	100	△90.2	3.54	
通期	63,600	△1.2	800	△58.6	600	△46.1	21.24	

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）2ページ「1. 経営成績等の概況（1）当期の経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(連結損益計算書) .....	7
(連結包括利益計算書) .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	15
(企業結合等関係) .....	16
(重要な後発事象) .....	17
4. その他 .....	17
販売の状況 .....	17

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

## ① 当期の経営成績 (2023年4月1日～2024年3月31日)

当連結会計年度における我が国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の復調等により、国内景気は緩やかな回復基調で推移しています。しかしながら、世界的な金融引き締めによる景気の減速懸念や、資源・原材料価格の高止まり及び円安による物価上昇、ウクライナ情勢の長期化等の影響により、依然として先行きは不透明な状況にあります。

このような経済環境の下、当連結会計年度における当社グループの業績は、累計正味加入件数の減少に伴い会員収入が減少したこと等により、売上高は748億69百万円と前期に比べ22億31百万円 ( $\Delta 2.9\%$ ) の減収となりました。営業利益は広告宣伝費や番組費が減少したものの、売上高の減少による利益減の影響等により、14億50百万円と前期に比べ17億75百万円 ( $\Delta 55.0\%$ ) の減益、経常利益は20億57百万円と前期に比べ14億89百万円 ( $\Delta 42.0\%$ ) の減益、親会社株主に帰属する当期純利益は10億92百万円と前期に比べ13億6百万円 ( $\Delta 54.5\%$ ) の減益となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりです。

## &lt;メディア・コンテンツ&gt;

当連結会計年度は、コンテンツの拡充と独自性の追求により、メディア・サービスの基盤を回復させることに加え、マーケティング施策の改革、視聴プラス $\alpha$ の価値の創出による新たな収益基盤の構築等に取り組みました。

コンテンツにおいては、注目度の高い「欧州サッカー UEFAチャンピオンズリーグ」「LPGA女子ゴルフツアー」、テニス等のスポーツコンテンツに、新たに「NBAバスケットボール」を加え、放送・配信いたしました。また、Kiss-My-Ft2、B'z、Stray Kids等、人気アーティストの音楽ライブのほか、3シーズンにわたる大型ドラマシリーズ「連続ドラマW フィクサー」等のオリジナルコンテンツを放送・配信しました。

また、連続ドラマWとして続編を2024年秋に放送・配信することが決定したWOWOW FILMS『ゴールデンカムイ』が、興行収入約30億円となる大ヒットとなり、当レーベル過去最高の興行収入を記録しました。

WOWOWオンデマンドにおいては、収益機会と付加価値の高いコンテンツ体験を創出するため、新たにTVO D (都度課金制) サービス「WOWOWオンデマンドPPV」を実装し、2023年9月よりサービス提供を開始しました。サービス提供同日に販売を開始した「UEFAチャンピオンズリーグ UEFAヨーロッパリーグ ーシーズンパス」は、購入したお客さまの約4割が、これまでWOWOWに加入したことがない新規のお客さまとなり、好評を得ております。さらに、同年12月には、世界的に急成長を遂げているプレミアムサービス「Paramount+」をWOWOWオンデマンドで新たに提供開始いたしました。

新たな収益基盤の構築においては、韓国の芸能事務所「KQ Entertainment」に所属するアーティストであるxikers、ATEEZの日本での単独公演の放送・配信権に加え、興行、物販、協賛の利用許諾を取得し、IPを活用したビジネスの強化に着手しました。さらに、この収益拡大の取り組みを加速すべく、既存事業の強化や新規事業の創出の手段として、国内外の上場企業やベンチャー企業、ベンチャーファンド等を対象とした投資も開始しました。

しかしながら、他社の動画配信サービスとの競争激化、目的番組の終了による解約件数増加の影響等により、正味加入件数は純減と厳しい結果となりました。

以上の結果、当連結会計年度におけるメディア・コンテンツセグメントの売上高は、696億73百万円と前期に比べ16億78百万円 ( $\Delta 2.4\%$ ) の減収、セグメント利益は16億13百万円と前期に比べ12億7百万円 ( $\Delta 42.8\%$ ) の減益となりました。

当連結会計年度の加入状況は次表のとおりとなりました。

(単位：件)

	第39期 2023年3月期	第40期 2024年3月期	対前年差	対前年増減率
新規加入件数	551,401	625,993	74,592	13.5%
解約件数	672,260	718,433	46,173	6.9%
正味加入件数	$\Delta 120,859$	$\Delta 92,440$	28,419	—
累計正味加入件数	2,559,552	2,467,112	$\Delta 92,440$	$\Delta 3.6\%$
内) 複数契約(注)1	356,597	337,228	$\Delta 19,369$	$\Delta 5.4\%$
内) 宿泊施設契約(注)2	81,150	84,501	3,351	4.1%

(注)1. 同一契約者による2契約目と3契約目については、月額2,530円(税込)の視聴料金を990円(税込)に割引しており、当該割引の

対象となる契約を「複数契約」と呼称しております。

2. 宿泊施設の客室で視聴するための宿泊施設事業者との契約については、視聴料金を個別に定めており、当該契約を「宿泊施設契約」と呼称しております。

#### <テレマーケティング>

既存外部顧客からのテレマーケティング業務等の外部売上が減少したこと等により、売上高は94億3百万円と前期に比べ7億28百万円(△7.2%)の減収となりました。また、費用面で、2023年8月に実施したフロストインターナショナルコーポレーション(株)の買収による取得費用の発生等により、セグメント損失は1億62百万円(前期はセグメント利益4億4百万円)となりました。

#### ② 次期の見通し(2024年4月1日～2025年3月31日)

当社グループを取り巻く事業環境は、他社の動画配信サービスの台頭によるコンテンツ及び会員の獲得競争の激化、業界内の合従連衡の活発化、急激な円安の進行等により、年々厳しさが増しております。このような環境下、当社グループは会員IDを主軸としたコミュニケーションへの転換などのマーケティング改革と、コンテンツの拡充及び独自性の追求により、メディア・サービス(放送・配信サービス)を中心に事業基盤回復を目指しております。

一方で、正味加入者数減少のトレンドは5期にわたり継続し、有料放送・配信サービスに続く、新たな事業領域も確立することができておりません。2024年度はこれらの諸課題に対処すべく「メディア・サービス(放送・配信サービス)の構造改革」と「新サービス開発による新たな収益の創出」を方針として掲げ、各種取組みを実行してまいります。

2025年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高747億円(前期比0.2%減)、営業利益7億円(同51.7%減)、経常利益15億円(同27.1%減)、親会社株主に帰属する当期純利益10億円(同8.5%減)を見込んでおります。加入件数は、期末累計正味加入件数246万7千件を見込んでおります。

#### (2) 当期の財政状態の概況

##### ① 資産、負債及び純資産の状況

###### (総資産)

当連結会計年度末の総資産は891億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ78億99百万円の減少となりました。主な要因は、投資その他の資産で投資有価証券等が増加したものの、流動資産で番組勘定等が減少し、さらに、有形固定資産で機械及び装置等が減少したことによるものです。

###### (負債)

負債は209億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ92億97百万円の減少となりました。主な要因は、流動負債で買掛金、未払金等が減少したことによるものです。

###### (純資産)

純資産は682億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億97百万円の増加となりました。主な要因は、剰余金の配当の支払等により減少したものの、親会社株主に帰属する当期純利益の計上及びその他有価証券評価差額金等が増加したことによるものです。

##### ② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の期末残高は、前連結会計年度末に比べ1億65百万円増加し、259億22百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

###### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動の結果得られた資金は42億93百万円(前期比10億73百万円増)となりました。主な増加要因は、棚卸資産の減少額71億68百万円、減価償却費40億9百万円及び税金等調整前当期純利益18億56百万円の計上であり、主な減少要因は仕入債務の減少額93億68百万円です。

###### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動の結果使用した資金は27億55百万円(前期比4億51百万円増)となりました。主な増加要因は、定期預金の払戻による収入46億66百万円であり、主な減少要因は、定期預金の預入による支出38億9百万円、無形固定資産の取得による支出15億81百万円及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出5億円です。

###### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動の結果使用した資金は14億33百万円(前期比10億82百万円減)となりました。主な減少要因は、配当金の支払額14億5百万円です。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性等を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

なお、国際財務報告基準（I F R S）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	28,683	28,334
売掛金	6,481	5,618
商品及び製品	5	17
番組勘定	25,611	18,448
仕掛品	46	38
貯蔵品	57	46
前払費用	1,001	1,531
その他	3,159	1,611
貸倒引当金	△64	△112
流動資産合計	64,980	55,534
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,419	9,509
減価償却累計額	△5,060	△5,364
建物及び構築物 (純額)	4,358	4,144
機械及び装置	17,290	16,256
減価償却累計額	△12,314	△12,373
機械及び装置 (純額)	4,976	3,883
工具、器具及び備品	4,948	5,211
減価償却累計額	△3,223	△3,642
工具、器具及び備品 (純額)	1,724	1,568
建設仮勘定	88	304
その他 (純額)	28	45
有形固定資産合計	11,176	9,947
無形固定資産		
借地権	5,011	5,011
ソフトウェア	2,975	3,343
その他	127	876
無形固定資産合計	8,115	9,231
投資その他の資産		
投資有価証券	2,262	3,570
関係会社株式	7,780	8,815
敷金及び保証金	792	704
繰延税金資産	1,766	942
その他	196	424
貸倒引当金	△24	△24
投資その他の資産合計	12,774	14,433
固定資産合計	32,065	33,612
資産合計	97,046	89,146

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	21,314	12,255
未払金	1,704	1,059
未払費用	3,745	3,705
未払法人税等	120	257
賞与引当金	55	60
その他	1,342	1,330
流動負債合計	28,282	18,669
固定負債		
退職給付に係る負債	1,854	1,877
その他	80	374
固定負債合計	1,935	2,251
負債合計	30,218	20,920
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	3,230	3,212
利益剰余金	59,217	58,904
自己株式	△1,008	△897
株主資本合計	66,440	66,219
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	316	1,842
繰延ヘッジ損益	42	145
退職給付に係る調整累計額	29	17
その他の包括利益累計額合計	387	2,006
純資産合計	66,828	68,225
負債純資産合計	97,046	89,146



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	77,101	74,869
売上原価	51,201	50,453
売上総利益	25,899	24,416
販売費及び一般管理費	22,674	22,965
営業利益	3,225	1,450
営業外収益		
受取利息	34	72
受取配当金	44	56
為替差益	9	258
持分法による投資利益	234	268
助成金収入	28	26
その他	24	38
営業外収益合計	376	721
営業外費用		
支払手数料	26	27
支払保証料	18	18
関係会社清算損	7	—
出資金運用損	—	35
投資事業組合運用損	—	26
その他	1	6
営業外費用合計	53	113
経常利益	3,547	2,057
特別利益		
固定資産売却益	0	5
特別利益合計	0	5
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	32	34
減損損失	—	70
投資有価証券評価損	36	101
特別損失合計	68	206
税金等調整前当期純利益	3,479	1,856
法人税、住民税及び事業税	554	443
法人税等調整額	527	320
法人税等合計	1,081	764
当期純利益	2,398	1,092
親会社株主に帰属する当期純利益	2,398	1,092

## (連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	2,398	1,092
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28	1,526
繰延ヘッジ損益	△99	89
退職給付に係る調整額	△3	△11
持分法適用会社に対する持分相当額	30	13
その他の包括利益合計	△101	1,618
包括利益	2,297	2,710
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,297	2,710

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,000	3,240	58,538	△312	66,467
当期変動額					
剰余金の配当			△1,719		△1,719
親会社株主に帰属する当期純利益			2,398		2,398
自己株式の取得				△778	△778
自己株式の処分		△9		82	72
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△9	679	△696	△26
当期末残高	5,000	3,230	59,217	△1,008	66,440

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	345	111	32	489	66,956
当期変動額					
剰余金の配当					△1,719
親会社株主に帰属する当期純利益					2,398
自己株式の取得					△778
自己株式の処分					72
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△28	△68	△3	△101	△101
当期変動額合計	△28	△68	△3	△101	△127
当期末残高	316	42	29	387	66,828

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,000	3,230	59,217	△1,008	66,440
当期変動額					
剰余金の配当			△1,405		△1,405
親会社株主に帰属する当期純利益			1,092		1,092
自己株式の処分		△18		110	92
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	△18	△312	110	△220
当期末残高	5,000	3,212	58,904	△897	66,219

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る調 整累計額	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	316	42	29	387	66,828
当期変動額					
剰余金の配当					△1,405
親会社株主に帰属する当期純利益					1,092
自己株式の処分					92
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	1,526	102	△11	1,618	1,618
当期変動額合計	1,526	102	△11	1,618	1,397
当期末残高	1,842	145	17	2,006	68,225

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	3,479	1,856
減価償却費	3,722	4,009
のれん償却額	—	16
減損損失	—	70
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	48
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1	△14
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△177	6
受取利息及び受取配当金	△79	△128
為替差損益 (△は益)	△326	△389
持分法による投資損益 (△は益)	△205	△221
固定資産除却損	32	34
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△5
投資有価証券評価損益 (△は益)	36	101
売上債権の増減額 (△は増加)	△58	954
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,193	7,168
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,642	△9,368
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△564	△197
その他の資産の増減額 (△は増加)	△1,569	440
その他の負債の増減額 (△は減少)	63	48
その他	13	0
小計	3,912	4,431
利息及び配当金の受取額	79	119
利息の支払額	—	△0
法人税等の支払額	△771	△256
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,219	4,293
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△5,098	△3,809
定期預金の払戻による収入	5,884	4,666
有形固定資産の取得による支出	△1,307	△1,300
有形固定資産の売却による収入	0	5
無形固定資産の取得による支出	△972	△1,581
投資有価証券の取得による支出	△818	△424
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△500
敷金及び保証金の差入による支出	△3	△6
敷金及び保証金の回収による収入	15	75
出資金の払込による支出	△33	△33
出資金の回収による収入	—	18
貸付けによる支出	△0	△0
貸付金の回収による収入	30	0
その他	—	134
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,303	△2,755

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△9
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△18	△19
自己株式の取得による支出	△778	—
配当金の支払額	△1,719	△1,405
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,515	△1,433
現金及び現金同等物に係る換算差額	23	60
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,575	165
現金及び現金同等物の期首残高	27,333	25,757
現金及び現金同等物の期末残高	25,757	25,922

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するため、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は、本国（日本）において有料でテレビ放送する事業に係るサービスを行っており、当該サービスの一つとして当社の連結子会社である(株)WOWOWコミュニケーションズが当社及び外部から委託を受け、当社の顧客管理業務及びテレマーケティング業務を行っております。(株)WOWOWコミュニケーションズは、当社の顧客管理業務については当社戦略に基づき、テレマーケティング業務に関しては独自の戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、有料でテレビ放送する事業に係るサービスを行う「メディア・コンテンツ」、当該サービスに係る顧客管理業務を含む「テレマーケティング」の2つを報告セグメントとしております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントごとの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一です。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	メディア・ コンテンツ	テレマーケ ティング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	71,335	5,766	77,101	—	77,101
セグメント間の内部売上高又は振替高	16	4,365	4,382	△4,382	—
計	71,351	10,131	81,483	△4,382	77,101
セグメント利益	2,820	404	3,225	—	3,225
セグメント資産	91,602	6,018	97,620	△574	97,046
その他の項目					
減価償却費	3,322	173	3,495	—	3,495
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,334	71	2,406	—	2,406

(注) 1. セグメント資産の調整額△574百万円は、セグメント間の債権の相殺消去であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と一致しております。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	メディア・ コンテンツ	テレマーケ ティング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	69,669	5,200	74,869	—	74,869
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	4,203	4,206	△4,206	—
計	69,673	9,403	79,076	△4,206	74,869
セグメント利益又は損失(△)	1,613	△162	1,450	0	1,450
セグメント資産	83,688	6,165	89,854	△707	89,146
その他の項目					
減価償却費	3,368	183	3,551	—	3,551
のれんの償却額	—	16	16	—	16
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,332	198	2,530	—	2,530

(注) 1. セグメント資産の調整額△707百万円は、セグメント間の債権の相殺消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## 【関連情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

当社の重要なサービス区分と報告セグメントによる区分は一致しますため、記載しておりません。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

海外に所在する有形固定資産が存在しないため、記載しておりません。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

主要な販売の相手先は一般視聴者であり、記載すべきものではありません。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

当社の重要なサービス区分と報告セグメントによる区分は一致しますため、記載しておりません。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

海外に所在する有形固定資産が存在しないため、記載しておりません。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

主要な販売の相手先は一般視聴者であり、記載すべきものではありません。



## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）  
該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：百万円)

	メディア・コンテンツ	テレマーケティング	全社・消去	合計
減損損失	70	—	—	70

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）  
該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：百万円)

	メディア・コンテンツ	テレマーケティング	全社・消去	合計
当期償却額	—	16	—	16
当期末残高	—	312	—	312

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）  
重要な負ののれん発生益は計上しておりません。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

重要な負ののれん発生益は計上しておりません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	2,377.78円	2,420.69円
1株当たり当期純利益	83.75円	38.79円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益	2,398百万円	1,092百万円
普通株主に帰属しない金額	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益	2,398百万円	1,092百万円
期中平均株式数	28,636,780株	28,158,063株

## (企業結合等関係)

## (取得による企業結合)

当社の連結子会社である(株)WOWOWコミュニケーションズは、2023年8月1日開催の取締役会において、フロストインターナショナルコーポレーション(株)の全株式を取得することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結し、全株式を取得しました。

## 1. 企業結合の概要

## (1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：フロストインターナショナルコーポレーション(株)

事業の内容：コールセンター事業、ダイレクトマーケティング事業

## (2) 企業結合を行った主な理由

当社グループは、中長期的な成長の実現を目指すため、2023年3月より既存事業の強化や新規事業創出等を目的とした投資を開始しております。今回、フロストインターナショナルコーポレーション(株)を当社グループに迎え入れることにより、テレマーケティングセグメントのさらなる成長と事業価値の最大化が見込めると判断し、株式取得を決定しました。

## (3) 企業結合日

2023年8月1日(株式取得日)

2023年6月30日(みなし取得日)

## (4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

## (5) 結合後企業の名称

結合前から変更はありません。

## (6) 取得した議決権比率

100%

## (7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社の連結子会社が現金を対価として、株式を取得したことによるものです。

## 2. 連結財務諸表に含まれている被取得企業の業績の期間

みなし取得日を2023年6月30日としており、かつ、連結決算日との差異が3か月を超えないことから、当連結会計年度においては2023年7月1日から2024年12月31日までの業績が含まれております。

## 3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	933百万円
取得原価		933百万円

## 4. 主要な取得関連費用の内訳及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 81百万円

## 5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

## (1) 発生したのれんの金額

329百万円

## (2) 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力であります。

## (3) 償却方法及び償却期間

10年間にわたって均等償却いたします。

## 6. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	558百万円
固定資産	111
資産合計	670
流動負債	302
固定負債	84
負債合計	386

## 7. 取得原価のうちのれん以外の無形固定資産に配分された金額及びその種類別の内訳並びに償却期間

## 主要な種類別の内訳

主要な種類別の内訳	金額	償却期間
顧客関連資産（顧客関係）	480百万円	17年
顧客関連資産（受注残）	11	0.25年
無形固定資産合計	491	

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. その他

## 販売の状況

当連結会計年度における売上高実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	売上高（百万円）	対前年増減率（%）
メディア・コンテンツ	69,669	△2.3
テレマーケティング	5,200	△9.8
合計	74,869	△2.9

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 主要な販売の相手先は一般視聴者であり、主な相手先別に記載すべきものではありません。

3. メディア・コンテンツセグメントには会員収入60,489百万円を含んでおります。